日本海新聞　　令和　3 年　12月　15日（水）

冬季の労働災害に注意を

どの労働災害防止に取り組んでいます。これからの寒い時期にはどのような点に注意すればいいでしょうか。

A 労働災害で最も多いのは「転倒」によるものです。昨年、鳥取県内で発生した休業4日以上の災害のうち、約4分の1が転倒でした。

鳥取県内では今年1月に、他の月の3倍にもなる約40人が転倒災害に遭っています。これは凍結、圧雪などによるものです。

冬季の転倒災害防止は通路の整備などだけでなく、労働者の意識も重要なポイントです。

まず、凍結危険箇所を把握して、会社では▽段差や凹凸、継ぎ目等のつまずく原因の改善および除雪▽滑りやすい場所への融雪剤・砂の散布▽滑り止め（転倒防止マット）の設置―などを行いましょう。

会社外では▽横断歩道の塗装やマンホール、側溝の上▽車、バスから降りる際▽建物から出た直後―は注意が必要です。

歩き方では▽滑りにくい靴を履く（革靴、ハイヒールは×）▽小さな歩幅で歩く▽両手を空ける―ことを心掛けましょう。

また、自動車を運転する際は▽冬用タイヤへの早めの交換▽余裕を持ち、危険を予測▽悪路（圧雪、アイスバーン）、悪天候（吹雪などの視界不良）での徐行や車間距離の確保―が重要です。

このほか、設備の確認や教育、注意喚起など、労働災害防止への準備もお願いします。

Q 当社では年間を通じて転倒な

鳥取労働局健康安全課　電話0857(29)1704